

まちづくりに活かしたい資源・強み

基本構想で定める「まちづくりの目標」「施策の体系」や重点戦略プランで定める「重点プロジェクト」は、以下のような由布市の資源・強みを効果的に活かしたまちづくりを推進するものとします。

1

豊富な自然環境、 水資源、温泉

由布市は、北部に由布岳、城ヶ岳、南部に黒岳、花牟礼岳、時山等が連なり、庄内、湯布院の一部は、阿蘇くじゅう国立公園の一部となっています。

また、大分川流域の豊かな水資源、豊富な湧水があり、

これらの自然環境と共生する形で、

各地域で農林畜産業が営まれてきました。

また、豊富に湧き出る温泉を活かして、

湯平温泉や由布院温泉が

全国屈指の湯治場、温泉地として栄えています。

農林畜産業と 伝統文化の継承

豊かな水資源や標高差等、地域ごとの気候特性を活かして、
水稲、野菜、畜産、果樹、花きなどの園芸作物といった
特色のある多種多様な農林畜産業が営まれてきました。

また、自然と密接に関わってきた暮らしの中から、
庄内神楽等の伝統芸能が根付き、次世代へ受け継がれています。
また、春の風物詩である野焼きの取り組みが、
開放感のある景観を保持しています。



道路・鉄道等による 交通利便性

大分市等の周辺自治体と由布市を結ぶ国道 210 号が由布市の中心を走ります。それに並行する JR 久大本線は、福岡市や大分市等から特急が運行し、市内には 8 つの駅があり、ビジネス・観光のための主要な交通機関となっています。大分自動車道には、湯布院 IC*が設置され、高速バスで福岡市や大分市、福岡空港、大分空港と結ばれています。一方で挟間は 大分 IC が近く、大分空港や県南方面へのアクセスに恵まれています。また平成 28 年度には由布岳スマート IC が開設される予定です。

※IC=インターチェンジの略



医療・福祉施設 充実した

大分は日本で初めて西洋医学を取り入れた地域でもあり、医療と深い縁のある地域です。

本市は、古くから湯治場として栄えた湯平、休養・保養の場所として息づいてきた由布院があります。旧日野病院など、全国的にも貴重な歴史的建造物が残り、医療に関する歴史がある地域です。現在では、大分県の医療の中核を担う大分大学医学部附属病院の立地も含め、市民一人あたりの医療機関数が多く、福祉、地域医療が充実しています。

そのため、医療・福祉関係の就業人口や生産額は、本市の上位を占めており、主要な産業の一つとなっています。

我が国屈指の 観光地

大正～昭和初期頃には湯平温泉が全国屈指の湯治場として、昭和 50 年頃からは由布院温泉が観光地として栄え、景観・環境を守りながら、温泉資源を観光に活かしたまちづくりが続けられています。湯布院観光は、地域の魅力を地域外へ発信し、地域ブランド力を高めるとともに、多くの旅館や飲食・小売業者と観光客を地域にもたらし、由布市が外貨を獲得し、雇用を創出する産業としての役割を担っています。



質の高い住環境

挾間、庄内における住宅地は、豊かな自然環境に恵まれ、大型商業施設等の商業施設、大分大学医学部附属病院等の医療機関も充実しています。さらには大分市や別府市等の都市部への道路、鉄道等によるアクセスも良く、大分都市圏においても落ち着いた住環境と利便性の高い生活環境、選択可能な雇用環境が整った地域です。

